

令和5年度 一般会計の主な事業 ※1万円未満の額は四捨五入。



総務費

一般事務経費や防災などに係る経費です。

- ・防災行政無線整備事業…6475万円
- ・循環バス運行事業…6334万円
- ・デマンド型交通運行事業…1510万円

民生費

児童・高齢者・障がい者福祉などに係る経費です。

- ・自立支援給付事業…7億4973万円
- ・施設型給付事業…7億2754万円
- ・生活保護扶助費…6億7109万円

衛生費

市民の健康づくり、ごみ処理などに係る経費です。

- ・病院事業会計助成事業…5億9970万円
- ・清掃事務費…1億5047万円
- ・子ども医療費助成事業…1億3882万円

農林水産業費

農林水産業の振興に係る経費です。

- ・基幹水利施設ストックマネジメント事業…1億2345万円
- ・土地改良助成事業…1億1404万円

- ・多面的機能支払事業…9134万円

商工費

商工観光の振興に係る経費です。

- ・物価高騰家計応援クーポン券発行事業…7613万円
- ・産業用地整備推進事業…2025万円
- ・地域おこし協力隊事業…257万円

土木費

道路や公園などの整備や管理に係る経費です。

- ・道路維持事業…1億3850万円
- ・道路新設改良事業…1億3375万円
- ・舗装修繕事業…5071万円

消防費

常備消防や消防団に係る経費です。

- ・消防団活動費…3814万円

教育費

小・中学校など教育行政に係る経費です。

- ・学校給食センター管理費…3億2769万円
- ・小・中学校施設維持管理費…8465万円
- ・市営グラウンドテニスコート改修事業…2553万円

◆表2 市債残高と市の実質負担率

		市債残高	実質負担率
一般会計	臨時財政対策債	59億 34万円	0.0%
	合併特例債	35億8384万円	30.0%
	その他市債	32億2091万円	60.0%
小 計		127億 509万円	23.7%
特別会計	病院事業債	7億2459万円	86.4%
合 計		134億2968万円	27.1%



更新した防災行政無線設備

◆表3 健全化判断比率

	匠塚市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	13.35%	20.00%
連結実質赤字比率	赤字なし	18.35%	30.00%
実質公債費比率	7.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	5.7%	350.0%	設定なし

健全化判断比率と資金不足
資金不足比率

業会計7億2459万円)で、令和4年度末と比べ14億3204万円減少しました。また、市債の種類に応じて国からの補てんがあるため、市債残高134億2968万円のうち実質的な市の負担は約36億円(負担率27.1%)となります。

◆表4 資金不足比率

	病院事業会計	経営健全化基準
資金不足比率	資金不足なし	20.0%

◆用語解説

- 実質赤字比率…財政規模に対する一般会計の赤字割合を示す指標
- 連結実質赤字比率…財政規模に対する全ての会計の赤字割合を示す指標
- 実質公債費比率…財政規模に対する借金返済額の割合を示す指標
- 将来負担比率…財政規模に対する負債の割合を示す指標
- 資金不足比率…公営企業の事業規模に対する資金不足の割合を示す指標

比率は、自治体の財政状況を判断するための指標です。健全化判断比率は、「健全段階」「早期健全化段階」「財政再生段階」の3段階に区分され、早期健全化段階や財政再生段階となった場合には、それぞれの段階に応じて財政健全化を図ることとなります。令和5年度決算における市の健全化判断比率、資金不足比率は、いずれも健全段階にあります(表3、4)。

※2～4ページに関する問い合わせは財政課財政班(☎73-0085)まで。

市民病院の決算概要

5類移行後も新型コロナウイルスの影響続く

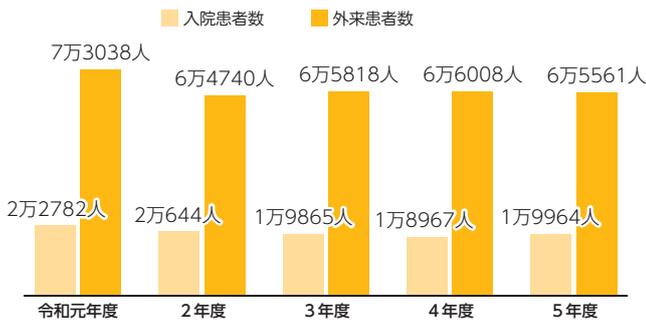
病院事業会計の令和5年度決算が市議会9月定例会で認定されました。新型コロナウイルス感染症（コロナ）の5類移行後もその影響は続き、発熱外来やワクチン接種、陽性患者の受け入れなど、コロナ対応を継続し、市民病院として一定の役割を果たしましたが、コロナ対策の補助金が大幅に減少。病院事業と介護老人保健施設事業を合わせた全体の収支は2億3298万円の損失となりました。



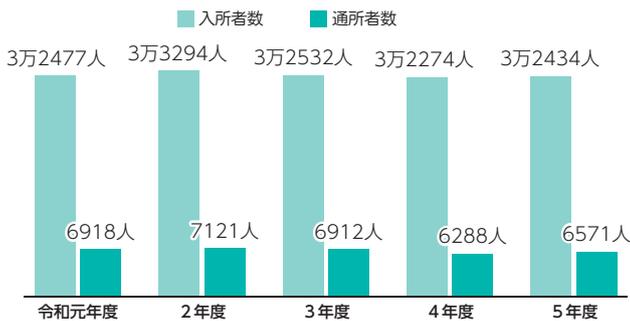
患者数などの状況

病院事業では、入院患者数が約2万人、外来患者数が約6万5600人でした。令和

◆ 図1 市民病院の患者数の推移



◆ 図2 そうさぬくもりの郷の利用者数の推移



4年度と比べ、入院は5・3%増加、外来は0・7%減少しました（＝図1）。介護老人保健施設事業（そうさぬくもりの郷）では、入所者数が約3万2400人、通所者数が約6600人でした。4年度と比べ、入所は0・5%増加、通所は4・5%増加しました（＝図2）。

収支の状況

◆ 収益的収支

収益的収支は、病院事業と介護老人保健施設事業の経営活動によって生じた収益と、それに要した費用です。収益は26億6831万円（令和4年度比1億5291万円、5・4%の減）、費用は29億129万円（同4165万円、1・5%の増）となりました。差し引きすると、収支は2億3298万円の損失となりました。なお、一般会計からの繰入

金を除いた収支は7億1196万円の損失でした（＝表1）。

◆ 資本的収支

資本的収支は、医療機器の購入や施設整備などへの支出と、その財源となる出資金や企業債です。

令和5年度は、ジェットウォッシュャー超音波洗浄装置（器材の汚れを除去する装置）や医療用照明器具无影灯（手術時に使用される照明）の購入、ぬくもりの郷の高圧受電設備（PAS）の更新などを行い、収支は6433万円の赤字となりました。

なお、一般会計からの繰入金を除いた収支は1億8504万円の赤字でした（＝表2）。

― 一般会計の繰入金

病院事業会計では、病院事業を運営する経費に充てるために市の一般会計から補助（繰入金）を受けています。令和5年度は総額5億9969万円の補助を受けました。国の基準に基づく補助は5億6990万円、このうち2億4564万円（43・1%）が地方交付税として国から補てんされました。

問 市民病院 ☎ 72・1525

◆ 表1 収益的収入および費用

	収益	費用	収支	一般会計からの繰入金	一般会計からの繰入金を控除した収支
病院事業	20億5460万円	22億3692万円	▲1億8232万円	4億5095万円	▲6億3327万円
介護老人保健施設事業	6億1371万円	6億6437万円	▲5066万円	2803万円	▲7869万円
合計	26億6831万円	29億129万円	▲2億3298万円	4億7898万円	▲7億1196万円

◆ 表2 資本的収入および費用

	収益	費用	収支	一般会計からの繰入金	一般会計からの繰入金を控除した収支
病院事業	8572万円	1億4912万円	▲6340万円	5982万円	▲1億2322万円
介護老人保健施設事業	6169万円	6262万円	▲93万円	6089万円	▲6182万円
合計	1億4741万円	2億1174万円	▲6433万円	1億2071万円	▲1億8504万円